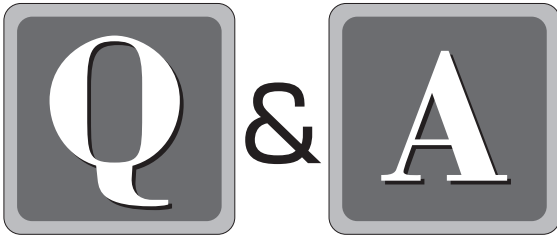


# 抗加齢専門医・ 指導士認定試験のための



新村 健 *Ken Shinmura*

兵庫医科大学内科学総合診療科主任教授

✉ ke-shimmura@hyo-med.ac.jp

## 専門医のためのQ&A

Q1

マウスにおいて以下の遺伝子の欠損により寿命延長が確認されたのはどれか。

解答肢

- a. Akt2
- b. Sirt1
- c. IKK  $\beta$
- d. GH（成長ホルモン）受容体
- e. FoxO1（Forkhead box protein O1）

A :

解説

脳特異的 IGF-1受容体ヘテロノックアウト，脳特異的 IRS2ノックアウト，GH 受容体ノックアウトなどの GH-IGF 受容体関連遺伝子の改変または変異マウスでは，寿命の延長が報告された。一方，GH-IGF 受容体シグナルの下流に位置する Akt や FoxO の欠損による寿命の延

長効果は報告されていない。NF- $\kappa$ B を阻害する IKK $\beta$ では視床下部特異的なトランスジェニックで，長寿遺伝子といわれる Sirt1では脳特異的トランスジェニックマウスで，寿命の延長が報告されている。

（答え：d）